

平成 17 年度当初予算案のポイント

1 平成 17 年度予算編成の基本的考え方

本県財政を取り巻く環境

< 財政状況 >

- ・ 本県の財政状況は、大幅な県税収入の増加が見込めない中、公債費や社会保障関係経費等の義務的経費は今後も増加するほか、施設やIT関係の維持管理費などの固定的な経費が大きく、将来にわたって大幅な財源不足が見込まれる大変厳しい状況にある。
- ・ こうした中でも、県民が期待する「社会の活力」「暮らしの安全」「誇りあるふるさと」を岐阜県に実現するためには、まず強固な財政基盤を築くことが重要であり、県政全般の『総点検』を通じ、早急に財政再建の道筋をうち立てる必要がある。

< 本県の景気動向 >

- ・ 我が国の景気動向に陰りが見られる現状においては、本県景気は一部に改善の傾向が見られるものの先行き予断を許さない状況にある。

当初予算編成の考え方

< 編成方針 >

- ・ 平成 17 年度当初予算は、知事選後の時間的制約の一方、本県では県内経済に占める県行政の割合が高く、県民生活や県経済への影響を考慮すると切れ目のない行政を展開する必要があるため、いわゆる『骨格的予算』として編成したところである。

< 編成内容 >

- ・ 人件費、公債費及び扶助費などの義務的経費は年間所要額を計上
- ・ 一般行政経費は、徹底的な経費の見直しに努めた上で年間所要額を計上
- ・ 普通建設事業は、当面の執行が円滑に行われるよう所要額を計上
- ・ 災害復旧事業は、年間所要額を計上
- ・ 公約のうち年度当初から取り組むべきものを計上

今後の補正の考え方

- ・ 当初予算に計上したものの以外の公約に係る事業等については、総点検作業も含め今後十分な検討を行い、可能なものから、補正予算(いわゆる「肉付け予算」を含む)に織り込むこととする。

2 平成17年度一般会計予算案の概要

[1] 予算規模

- ・「骨格的予算」として編成したため、平成17年度一般会計予算規模は、7,501億円と、前年度に比べて、486億円減、6.1%減となっている。
- ・三位一体改革により都道府県に導入された「国民健康保険・財政調整交付金制度」を除く実質的な比較では、対前年度比6.8%の減となっている。

[2] 歳入の状況

- ・県税収入は、製造業の業績好調等に伴う法人二税の増収などにより、全体として対前年度比3.3%増の2,020億円と、3年ぶりの2,000億円台回復を見込んでいる。
- ・地方交付税は、対前年度比1.6%増の1,903億円を計上している。
- ・県債は、普通建設事業を抑制して計上したことや臨時財政対策債（赤字地方債）の発行額が大幅に減少したことなどから、対前年度比19.3%減の926億円を計上している。
- ・基金繰入金は、対前年度比24.5%減の188億円を計上している。

【歳入の状況】

(単位：億円、%)

項 目	平 予算額		平 予算額		伸 額	伸 率
		構 成		構 成		
県 税	2,020	27.0	1,955	24.5	65	3.3
地方交付税	1,903	25.4	1,873	23.5	30	1.6
県 債	926	12.3	1,148	14.4	222	19.3
臨時財政対策債	262	3.5	342	4.3	80	23.4
国庫支出金	1,000	13.3	1,244	15.6	244	19.6
基金繰入金	188	2.5	249	3.1	61	24.5
その他収入	1,464	19.5	1,518	18.9	54	3.6
合 計	7,501	100.0	7,987	100.0	486	6.1

[3] 歳出の状況

- ・人件費は、「少人数学級導入に伴う教員の増員」や「治安強化対策としての警察官の増員」など重点分野に手厚く措置する一方、市町村合併進展による県組織見直しやアウトソーシングの導入等により職員定数の削減を図るなど、総額で37億円減と対前年度比1.5%の減となっている。
- ・公債費は、過去の景気対策等のために発行した県債の償還が本格化しており、対前年度比、46億円増、4.4%増となっている。
- ・普通建設事業については、継続事業を中心に当面の執行が円滑に行われるように計上（公共枠、県単枠ともに対前年度比約20%減など）したことから、前年度に比べて大幅に減少している。
- ・その他の経費については、徹底的な経費の見直しを行い、所要額を計上している。

【歳出の状況】

（単位：億円、％）

項 目	平 予算額		平 予算額		伸 額	伸 率
		構 成		構 成		
人件費	2,423	32.3	2,460	30.8	37	1.5
知事部局	386	5.2	395	5.0	9	2.4
教育委員会	1,676	22.3	1,710	21.4	34	2.0
警察本部	361	4.8	355	4.4	6	1.9
公債費	1,087	14.5	1,041	13.0	46	4.4
普通建設事業	1,572	21.0	1,979	24.8	407	20.6
その他	2,419	32.2	2,507	31.4	88	3.5
合 計	7,501	100.0	7,987	100.0	486	6.1

3 県政運営の基本方針と平成17年度当初予算案

県民の目線で総点検、そして、活力・安心・自立の岐阜県へ

政策の総点検の実施

- ・ 県民の目線で、全ての政策を点検する知事直轄の「政策総点検本部」を設置する。
- ・ 徹底した「現場主義」と「対話重視」を柱に、さまざまな機会を通じて県民の声をじっくりと聞きながら政策を『総点検』し、政策の発展・継続・縮小・廃止・民間への移管などを明確にする。
- ・ 当初予算に計上したもの以外の公約に係る事業等については、総点検作業も含め今後十分な検討を行い、可能なものから、補正予算（いわゆる「肉付け予算」を含む）に織り込むこととする。

県政の重点施策

[1] 「活力」のある「元気あふれる岐阜県づくり」

地域の活力を生み出していく原動力は、その地域が持つ他に誇ることができる資源を有効に活用することから生まれるものであり、本県が持つ「恵まれた自然」と岐阜県の歴史に根ざした「匠の技」を生かした、「元気あふれる岐阜県づくり」を進めていく。

[2] 「安心」して暮らせる「人にやさしい岐阜県づくり」

少子高齢化社会を迎え、県民が安心して、安全に暮らせることは、県民の共通の願いであり、本県が持つ「たすけあいの心」と「いやされる地域性」を生かした、「人にやさしい岐阜県づくり」を進めていく。

[3] 「自立」した「誇りの持てる岐阜県づくり」

経済・文化の国際化、地方分権の進展、情報社会の到来など、岐阜県を取り巻く環境の変化に対応していくためには、地域が自立していくことが必要であり、地域固有の「魅力ある伝統や文化、歴史、自然」と「豊かな個性」を活かした、「誇りの持てる岐阜県づくり」を進めていく。

◎公約のうち17年度当初予算案に織り込んだ主なもの

1 「活力」のある「元気あふれる岐阜県づくり」

- ・ 県産材利用拡大の推進 (261,421)
- ・ グリーンツーリズムの推進 (5,600)
- ・ 産直住宅の建設促進を支援 (3,500)
- ・ 新たな農林水産業の指針を策定 (1,200)
- ・ 学校給食における県内産農産物の利用を支援 (35,000)
- ・ BSE全頭検査の実施 (69,692)
- ・ 海外誘客戦略により誘客対策事業を実施 (23,000)
- ・ 「県産品販売促進大作戦」の推進 (47,000)
- ・ 県工業団地への企業誘致の推進 (3,500)
- ・ 知的クラスター形成促進事業費補助 (14,809)
- ・ 愛・地球博「岐阜県の日」の開催 (30,000)
- ・ 「花フェスタ2005ぎふ」の開催 (341,560)
- ・ 「東濃地域人材チャレンジセンター」における無料職業紹介の新規実施 (20,460)
- ・ 商店街団体等による商店街活性化事業の支援 (80,000)

2 「安心」して暮らせる「人にやさしい岐阜県づくり」

- ・ 高齢者向けケア付住宅の供給促進 (60,072)
- ・ 働く意欲のある障害者の一般就労を支援 (3,500)
- ・ 自閉症などの発達障害者のための支援方策の推進 (1,000)
- ・ 台風23号等による被害の迅速な災害復旧対策の推進 (7,241,858)
- ・ 間伐の推進 (2,797,874)
- ・ 「岐阜県国民保護計画」の避難行動指針作成 (10,000)
- ・ 県立学校の校舎等耐震補強 (3,500,000)
- ・ 警察官 (70人) や交番相談員 (10人) 等の増員
- ・ 低年齢児保育対策費県単補助 (146,551)
- ・ 児童虐待防止対策事業 (9,895)
- ・ 「DV防止等基本計画」の策定 (1,500)
- ・ がん検診体制の強化 (4,176)
- ・ 次期岐阜県環境基本計画の策定 (1,800)
- ・ 廃棄物リサイクル認定製品の利用拡大 (3,360)
- ・ 「岐阜県新エネルギービジョン」の改訂 (8,648)

3 「自立」した「誇りの持てる岐阜県づくり」

- ・ 美術館、博物館、現代陶芸美術館の児童生徒観覧料を完全無料化
- ・ 社会福祉事業団の民営化に向けた改革の実施
- ・ 県立公園 (百年、各務原、養老等) への指定管理者の導入
- ・ 岐阜県型少人数指導に少人数学級制を導入
- ・ 政策総点検本部の設置 (13,000)
- ・ 市町村に対する権限移譲に係る交付金を見直し (116,278)